

戦略目標④ 確かな財政基盤づくり

厳しい財政環境の中でも、市民が真に求めるサービスや将来に生きる投資を確実に持続できる財政基盤の構築が急務です。

市民の目線に立って小さくても効率的に働く、そんな市役所を実現します。

具体的対応

- ①職員は市民の視点に立って行動する現場力を高め、自らが市役所の顔であるとの気概を持って事に当たる組織づくり
- ②財政再建の目標を堅持しつつも、市民の理解を得るため情報を共有し、十分な市民との対話



- ③市有財産の売却・転用・計画的補修など、総コストと効用の最大化を実現する財産最適運用システムの導入

- ④市税や使用料・給食費などの悪質な滞納には、毅然とした態度で臨み、不公平がない受益と負担の実現

戦略目標⑤

協働社会への転換

これまでの8年間で進めてきた市民主体のまちづくりを究極まで進化させます。6万1千人の知恵、経験、熱意、行動力を集めてさらに素晴らしい石狩を、そしてその感動をみんなで分け合えるようなまちづくりを目指します。

具体的対応

- ①意欲的に活動する町内会・自治会などに対して、市役所が持つ資源を総動員して支援する仕組みづくり
- ②市民と市職員が情報を持ち寄り自由に見聞交換し、まちづくりへつなげる「ラウンドテーブル」の開催
- ③声なき声を大切にした行政評価の新システム導入
- ④市民活動のベースキャンプ「ま

- ちおこしセンター」の設置
- ⑤市民主体でまちづくりを進め

「市民が合併効果を実感できる、 確かな道筋を作る4年間」

顧みますと、私は議会のご理解をいただきながら、1期目の任期では石狩市に「市民参加」・「市民協働」の種をまき、2期目では2村との合併により石狩市の可能性を広げること鋭意努力してきました。迎える3期目では、合併で広がった可能性を現実のものとし、市民に合併効果を実感していただくための確かな道筋を作っていかなければならないと決意を新たにしています。

このたびの選挙を通して、私

はかつてない多くの市民と膝を交えて話し合う機会を得ましたが、最も時間を割いて意見を交わした問題は「財政再建」でした。

その中で、直面する財政危機を自らのこととして、痛みを覚悟しながらも再建を進めることを強く望んでいる市民が実に多いことを実感しました。8年前にまいた種が広がり大きさを

ていく石狩の憲法「自治基本条例」の制定

増し、石狩市民の意識が一步一步着実に成熟していることを、あらためて誇りに思います。

ふるさと石狩をもう一度見つめ直せば、石狩市がこうした素晴らしい市民、歴史、文化、産業、自然などに恵まれた無限の可能性を秘めた「まち」だと、誰もが気付くのではないのでしょうか。

敬愛すべきすべての石狩市民、その代表である議会と常に対話し、説明責任を果たす中で、このまちのすべてのプレイヤーをコーディネートしながら、この可能性を現実のものにするよう市政を牽引していきたいと念願しています。

最後に、微力ではありますが全身全霊をかけて市政運営にあたる所存でありますので、議員各位をはじめ、市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ、私の所信表明とさせていただきます。

補正予算の
主な事業

市民が元気に 活躍できるまちづくり

平成19年度当初予算は、市長選挙が予定されていたために、いわゆる「骨格予算」として編成して
いましたので、今回の補正予算で、政策的予算などを追加します。主な事業内容は下記のとおりです。
※第2回定例会提案中のものを含みます。事業費は概数です

1 安全・安心・快適なまち

- AED(自動体外式除細動器)設置事業——120万円
・設置済みの8施設に加え、新たに3施設にAEDを設置します。
- 浜益区濃昼橋改良事業——1,100万円

2 健康でしあわせに暮らすまち

- 法人保育所建設費交付金——9,000万円
待機児童の解消を図るため、新たに開設される法人保育所に
建設費の一部を交付します。〔えるむの森保育園(H20.4.1開設
予定)・定員90人〕
- 赤ちゃん訪問事業——100万円
新生児訪問の人員体制を強化し、第一子を中心に実施してき
た家庭訪問を全出生児に拡大します。
- 産後子育てサポート事業——120万円
生後6カ月までの乳児がいる家庭に、子育て経験者を派遣し、
育児支援や家事支援を行います。
- ファミリー・サポート・センター事業——170万円
NPO団体を中心とする組織による会員制託児サービスを実施
します(9ページ参照)。
- 母子家庭自立支援給付事業——20万円
専門的な資格取得のための、講座等受講費用の一部を助成
します(8ページ参照)。
- 障がい児保育運営補助事業——200万円
市内2カ所で実施している障がい児保育の定員数を拡大します。

3 元気で活力あるまち

- 農地・水・環境保全向上対策事業——230万円
農地・水・環境の保全と質的向上に取り組む活動組織を支援
し、農業の持続的発展を図ります。
- 持続的農業・農村づくり促進特別対策事業——440万円

4 豊かな自然を守り育て活かすまち

- 公園改修事業——510万円
- コミュニティセンター改修事業——160万円
- 「燃やせないごみ」のリサイクル化事業——1,020万円
※リサイクル化に伴うごみ処理費の減額△1,030万円

5 心豊かに学びいきいきと活動するまち

- 南線小学校増改築事業——4億1,400万円
・南線小学校体育館建設事業
- スクールバス購入事業——560万円
・厚田区(発足線)のスクールバス購入
- 中学生文化関係コンクール等参加費補助事業——55万円
- 心叫太鼓「夢童」助成事業——250万円
- スクールカウンセラー配置事業——130万円
中学校に配置しているスクールカウンセラーを1人増員します。
- 子どもリリーフ22(青少年育成支援事業)——14万円
いじめや不登校の早期発見・早期解決を図るため、専門支援
員を教育委員会に配置します。
- 体育施設整備事業——300万円
・スポーツ広場の整備事業

